



KOMEITO YOKOSUKA

# 公明党市議会ニュース

公明党横須賀市議団ホームページ <http://www.yokosuka-komei.jp>

第52号 平成22年4月発行 公明党横須賀市議団：横須賀市小川町11 TEL.046-822-8453(市議会公明党控室) 発行人：板橋 まもる

## 新年度予算、異例づくめの修正可決!! 吉田市長、改革の姿勢いまだ見えぬ!

### 22年第1回定例会本会議 代表質問から

平成22年度予算案を審議する第1回定例会本会議で、公明党から西田かずえ議員が代表質問に立ち、幅広い視点から多岐にわたり市長・教育長に質問しました。市長の答弁は全般的に官僚的答弁に終始し、「チェンジ」を掲げている割には、自らの言葉で前向きに答弁する姿勢があまり見受けられませんでした。いつもながらのパフォーマンスが先行し、中身が薄く期待外れの感否めません。以下その主な質疑を紹介いたします。



西田かずえ議員

#### ◆市長の施政方針

Q：現在検討中の基本計画案の重点プログラムを、議決してもいないのに予算化したことは意思決定や説明のプロセスに配慮が欠けているのではないかと。A：私の考える重点分野の項目立てとして、現時点で案として示したもので、決して議決や意思決定のプロセスを軽視したものではない。

Q：独断専行・周囲への配慮不足等リーダーとしての市長の政治姿勢について。A：現場を大切に考え、市民の生の声をよく聞いていく。議会との二元代表制をしっかりと認識し、市政運営を行っていきたい。

#### ◆行財政改革

Q：指定管理者制度の今後の展開について。A：包括的な指定管理によるコスト削減と地元企業の参入の促進が両立できるように今後も検討してまいります。

#### ◆市民協働のまちづくり

Q：交通不便地対策としてのコミュニティバスや乗合タクシー等の導入に関する相談窓口の設置について。A：今後、自治体やNPOなどが運行主体となる場合、情報提供や技術支援、関係機関等の調整など土木みどり部交通計画課を窓口として、可能な限り積極的

に支援してまいります。

#### ◆文化・観光振興策

Q：「海と緑の1万メートルプロムナード」の魅力度アップのため、若者を引きつけるスポーツ施設の再整備や下町浄化センター屋上の有効活用について。A：適切な修繕は随時進め、屋上の有効活用は一部だけでも全庁的に研究していきたい。

#### ◆若者の雇用問題

Q：市内に雇用受皿が少ない為、積極的な対応策の必要性について。A：働く場づくりとして企業誘致や空き店舗対策もさらに力を入れていきたい。

#### ◆子育て・教育問題

Q：学校や保育園・グラウンド・公園に芝生化事業の導入について。A：外遊びの安全性が向上し、砂埃飛散防止・気温上昇抑制などの効果も期待できるが、一方維持管理における問題等を検討していきたい。

Q：放課後の子ども居場所として、市内どこに居住しても子どもたちが平等なサービスを受けられる体制について。A：今後多様なニーズへの対応として、2階建て構想もしっかり研究していきたい。

Q：学校現場で要望の多いトイレ改修の促進について。A：財政状況も勘案し、時期をとらえて

実施していきたい。

2系統目の改修に着手していきたい。

#### ◆介護・医療

Q：公明党による介護総点検運動の調査結果に基づき、本市としての抜本的な介護基盤の整備の取り組みについて。A：調査結果を次期介護保険事業計画策定の参考にし、今後の本市が取り組むべき福祉施策の課題としていきたい。

Q：女性特有のがんの受診率向上の更なる啓発活動と無料検診の継続実施、子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成について。A：H22年度は国の補助率が2分の1になるが継続実施する。23年度以降は国の全額補助で実施できるように要望していく。ワクチン助成に対しては国の動向や他市の状況を参考に調査研究していきたい。

### 救急医療センターの移転建替え問題で 吉田市長の行政手腕に、疑問の声相次ぐ!

老朽化が著しく、早急な課題解消が求められる三春町の救急医療センター。前市長時代には新港地区への移転建替えが決まっていました。

しかし、「新築よりも改築の方が安い」との理由から、「現地での改築」にこだわる吉田市長。しかし、今回の議会答弁では、移転建替えの方が、安くなるとの試算が明らかに。その内容は、改修費用が、6億4千万円に対し、建替えた場合は8億5千万円。単純比較では建替えの方が2億1千万円のコスト高ですが、改修した場合の耐用年数は、30年（既に築後30年が経過しているため）。建替



救急医療センター移転計画予定地の新港地区

純比較では建替えの方が2億1千万円のコスト高ですが、改修した場合の耐用年数は、30年（既に築後30年が経過しているため）。建替

なる啓発活動と無料検診の継続実施、子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成について。

A：H22年度は国の補助率が2分の1になるが継続実施する。23年度以降は国の全額補助で実施できるように要望していく。ワクチン助成に対しては国の動向や他市の状況を参考に調査研究していきたい。

この場合60年となり、初期投資額を耐用年数で割った年額換算では、改修が2100万円、建替えが1400万円、建替えの方が年額700万円安く済むという計算になります。

これにより「改修の方が安く済む」との自らの論拠が崩れたにも関わらず、英断を下せない市長。しかも当初予算案では、この問題に1円の調査費もつけず、問題を先送りしようとする市長の政治姿勢に業を煮やした議会側が予算の修正を提案。市長のマニフェスト関連の4事業を減額し、救急医療センターの開設準備費として、昨年と同額の5万円を増額修正する事態に。

また、驚いたことに救急医療センターの移転先である新港地区に、移転建替えを前提とした建築制限をかける議案を議会に提案してきたこと。政策決定は先送りでも、移転先の土地利用は一切変更しようとしないうちにこの矛盾に市長の行政手腕を疑う声が相次いでいます。



板橋まもる議員

### 北斗七星



岩沢あきお議員

「是々非々」とは「良い事は良い、悪い事は悪いと、事に応じて判断すること」(広辞苑)。中国の思想家・荀子の「是を是とし非を非とする、これを智といひ、是を非とし非を是とする、これを愚といひ」に由来する◆ここで問われるのは「是」と「非」の判断基準だ。吉田市長になって初めての予算議会はマニフェスト関連事業の1263万5千円が減額され、一方、救急医療センターの課題解決を早期に図るための準備経費を5万円計上した上で可決成立した◆予算修正は1958年以来で52年ぶりだ。市長マニフェスト(選挙公約)に盛り込んだ4事業が削られ、初の予算編成に取り組んだ同市長にとって厳しい結果となった◆議会からの指摘は、なんら検証もされていないマニフェストに「固執」する異常なまでの頑迷さ。脱官僚を自ら宣言しながら具体的には全く改革意欲のない「没官僚」姿勢。市民の声を聞きながら、と言いつつ意思決定のプロセスが一方的な「独断専行」と「言行不一致」◆これまで議会は執行部の追認機関との指摘もあったが、激しい議論の応酬が目立ち、二元代表制の機能が如何なく発揮されつつある。見栄や立場を超え「真の市民目線」からの主張を「是」とし、公明党は戦つ。



# 定例会トピックス

## 横須賀市議会

### 市長マニフェストを斬る!

#### 52年ぶりの予算案の

#### 修正動議、可決!!

市長は、22年度予算において自身のマニフェスト関連の事業を提示してききましたが、公明党市議団は市民目線で以下の理由で4事業1263万5千円に反対しました。

#### 1、顔写真付き名札の導入経費6万円

現在職員が職務中に身につけている名札が、その用途として十分果たしているにもかかわらず、さらに個人の写真を貼り付けることに、合理的な有効性を認められず、逆に「なりすまし」など詐欺行為に悪用される恐れがあります。

#### 2、財政基本計画の全戸配布経費846万3千円

市民一人当たりの借金と行政サービスの比較、将来の財政のあり方を全戸配布して市民全員に解説するという内容ですが、財政基本計画の解説ならば多くの市民に読まれている「広報よこすか」において特集記事を組めば十分です。

#### 3、「借金時計」のホームページ作成経費21万7千円

市民に市の借入額（市債）の金額の数字をホームページと本庁舎1階の窓口サービス課のモニターに表示しお知らせすることのこと。しかし、リアルタイムに市の借入額を表示することで、市民に何を伝えたいのかが分らず、市民に不安を与える政策です。

#### 4、公用車の白黒ツートンカラー塗装経費386万5千円

警察車両と同様の配色にすることで犯罪抑止効果があるとのことですが、警察車両と混同された場合の職員の危機管理対応が考慮されていないなど、導入に際する慎重さに欠けており、公用車によるパトロールは、青色回転灯で十分な効果が得られます。



島田あきら議員



土田ひろのぶ議員

### 長坂にごみ処理施設、決定を疑問視する議会

#### 「地元住民への説明と理解を最優先」の附帯決議、全会一致で可決!!

横須賀市は三浦市とのごみ処理の広域化にあたり、本市が分担する「可燃ごみ処理施設」と「不燃ごみ等選別施設」の建設計画地を長坂5丁目に決定したことを1月末に発表。建設計画地は広さ4ヘクタール。山科台から2キロほど奥で、現在減容固化施設のある付近で西部鉄道が所有しています。

市当局はこれまで議会への説明もなく、市役所内部の検討のみで決定をしました。地元の長坂、衣笠地区の連合町内会に対して説明

会を開きましたが、はじめに聞く話に地域の代表は戸惑いの色が隠せず、反発の声が上がっています。市長の政治



たしかに長坂の計画地は民家から離れた山奥ですが、搬入路の用地など38ヘクタールもの買収用地を

進めてきましたが、今回決定した理由として人家から離れていることや、収集車が効率的に運搬できることが挙げられています。

第1回定例会における民生常任委員会においても、地質調査やボリングなどで1億3千万円余の予算が計上されており、検討経過の情報公開のあり方や決定されるまでの手法のあり方、議会・市民への説明責任のあり方、久里浜・南処理工場の建て替えではなぜ無理なのかという声が相次ぐと共に市長の姿勢を疑問視する質疑が繰り返されました。

しかしながら、委員会として地域住民への丁寧な説明を果たすべきであるとして、「地元住民への説明と理解を最優先し、測量や地質調査の予算執行にあたっては慎重を期すこと」という附帯決議を本会議において全会一致で可決しました。今後も市民目線で事業の推移を注視していきたいと思



鈴木まち子議員

### 集客特命担当について

経済部・商業観光課では、観光宣伝事業として新規に、「観光客を誘致するための集客特命担当を置き、口モーション事業を充実させる」として、新たに集客特命担当が配置されることになりました。



委員会で、集客特命担当が民間からの登用人事というこ

とについて、質問が集中しました。理事者の説明では、現在「広告代理店勤務で、職員をリードし横須賀の観光事業に大きな成果をもたらす期待の持てる人」ということ

で、有能な経歴の持ち主ということ。話の前後から市長の肝いりで、推薦された人のよう。給与は市職員の主査と同等800万



むろしま真貴子議員

### 吉田市政 就任後初の大量人事を断行!

検証!!

#### 職員やる気低下を懸念する声も?

4月は人事異動の季節。改革を掲げて当選した吉田市長の初の人事に注目が集まる中、早くもその人事管理能力に、内部から疑問の声が上がっている。

▼疑問その① 上下水道局長人事。今回、吉田市長が選任した人物は、議会の同意が得られない事を理由に、副市長への起用を断念した人物。上下水道事業には全くの未経験者。このポストは議会の同意が必要ない。吉田市長の「メソッド人事?論功行賞人事?」との疑問の声が内外から噴出。

▼疑問その② 今回の人事で明らかになった事がもう一つある。定年退職を前に依願退職する現職の部長が2人いたこと。2人も市政の中枢を担う重要ポスト。しかも吉田市長就任以来、定年退職を前に依願退職した部長は計4人。前例のないこの異常事態に市役所内部に激震が。

▼疑問その③ 今回の部局長人事でもう一つの特徴は、定年退職をあと1年残した幹部職員を、全く経験のない部署へ配置転換していること。適材適所とは程遠いこの人事に「飼い殺し」との批判も。

今回の人事への不満の背景、それは吉田市長への職員の不信任感。厳しい財政事情を背景に、職員には給与カットを強要。しかし、自らの高額な給与や退職金については、自ら決断しない市長の態度に、この人は本当に市政を改革する気があるのかとの疑問が。吉田市長はこの疑問に真正面から答えるべきである。